

令和6年8月8日

名古屋東労働基準協会 殿

名古屋東労働基準監督署長



転倒による労働災害防止に向けた取組について（要請）

～転倒による労働災害が多発しています～

平素は、労働基準行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、職場での転倒災害は、最も多く発生しており近年増加傾向にあります。

また、災害は、骨折等により休業が1か月以上となることが多く、特に中高年齢の女性に多く発生しています。

転倒災害防止に取り組むことは、女性や中高年齢者が活躍できる社会の実現や生産性向上の観点からも重要であります。

つきましては、転倒災害防止の取り組みを進めるうえで、貴団体から会員事業場等の関係者に対し、下記のリーフレットの周知方ご協力をお願いいたします。

記


1. 労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう
2. 介護労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう

# 労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう


50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています  
事業者は労働者の転倒災害防止のための措置を講じる必要があります


## 「つまずき」等による転倒災害の原因と対策


- (なし) 何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒  
 > 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入 (★)
 





職場3分  
エクササイズ  
中央労働災害  
防止協会  
転倒予防セミナー
- 作業場・通路に放置された物につまずいて転倒  
 > バックヤード等も含めた整理、整頓（物を置く場所の指定）の徹底
 


- 通路等の凹凸につまずいて転倒  
 > 敷地内（特に従業員用通路）の凹凸、陥没穴等（ごくわずかなものでも危険）を確認し、解消
 


- 作業場や通路以外の障害物（車止め等）につまずいて転倒  
 > 適切な通路の設定  
 > 敷地内駐車場の車止めの「見える化」
 



- 作業場や通路の設備、什器、家具に足を引っかけて転倒  
 > 設備、什器等の角の「見える化」
 



- 作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒  
 ※引き回した労働者が自らつまずくケースも多い  
 > 転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に遵守を徹底させる
 





## 「滑り」による転倒災害の原因と対策

- 凍結した通路等で滑って転倒  
 > 従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する (★)
 


- 作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑って転倒  
 > 水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。  
 （清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してから開放の徹底）
 


- ウェットエリア（食品加工場等）で滑って転倒  
 > 滑りにくい履き物の使用（労働安全衛生規則第558条）  
 > 防滑床材・防滑グレーチング等の導入、摩耗している場合は再施工 (★)  
 > 隣接エリアまで濡れないよう処置
 


- 雨で濡れた通路等で滑って転倒  
 > 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う
 



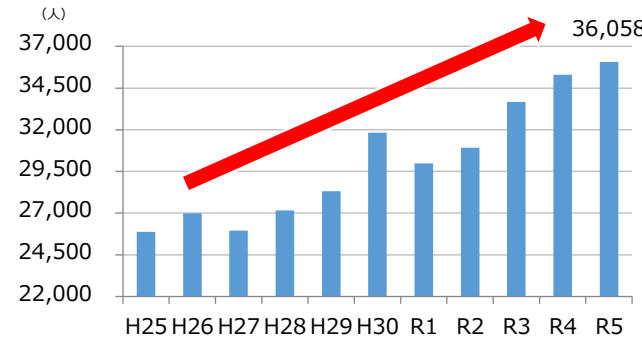
(★) については、高齢労働者の転倒災害防止のため、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」を利用できます

中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます

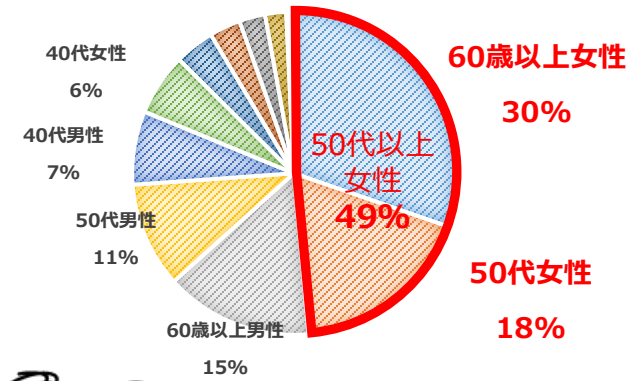


# 職場で転倒して骨折（転倒災害）

## 転倒災害は増加の一途



## 性別・年齢別内訳（令和5年）



## 転倒災害による平均休業日数（令和5年）


48.5日


※労働者死傷病報告による休業見込日数


よくある転倒の原因と対策

## 転倒リスク・骨折リスク

- > 加齢とともにすべての人が、転びやすくなります  
 ✓ いますぐ「転びの予防 体力チェック」
 


- ✓ 「毎日かんたん！口コモ予防」 (出典：健康寿命をのばそう SMART LIFE PROJECT)
 


- > 特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します  
 ✓ 対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」を受診させましょう  
 ✓ 骨粗鬆症予防も一緒に！「骨活のすすめ」 (出典：健康寿命をのばそう SMART LIFE PROJECT)
 



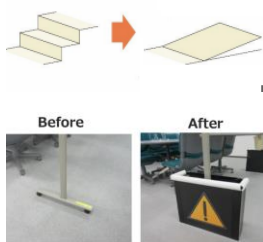


# 介護労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう

50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています  
事業者は労働者の転倒災害防止のための措置を講じなければなりません

## 「つまずき」等による転倒災害の原因と対策

- (なし) **何も無いところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒**  
 ▶ 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入（★）  
 ▶ 走らせない、急がせない仕組みづくり
- 通路の段差につまずいて転倒**  
 ▶ 事業場内の通路の段差の解消（★）、「見える化」  
 ▶ 送迎先・訪問先での段差等による転倒防止の注意喚起
- 設備、家具などに足を引っかけて転倒**  
 ▶ 設備、家具等の角の「見える化」
- 利用者の車椅子、シルバーカー、杖などにつまずいて転倒**  
 ▶ 介助の周辺動作のときも焦らせない  
 介助のあとは“一呼吸置いて”から別の作業へ
- 作業場や通路以外の障害物（車止めなど）につまずいて転倒**  
 ▶ 適切な通路の設定  
 ▶ 敷地内駐車場の車止めの「見える化」
- コードなどにつまずいて転倒**  
 ▶ 労働者や利用者の転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に徹底させる



## 「滑り」による転倒災害の原因と対策

- 凍結した通路等で滑って転倒**  
 ▶ 従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マットを設置する（★）
- 浴室等の水場で滑って転倒**  
 ▶ 防滑床材の導入、摩耗している場合は施工し直す（★）  
 ▶ 滑りにくい履き物を使用させる  
 ▶ 脱衣所等隣接エリアまで濡れないよう処置
- こぼれていた水、洗剤、油等（人為的なもの）により滑って転倒**  
 ▶ 水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。  
 （清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してからの開放）
- 雨で濡れた通路等で滑って転倒**  
 ▶ 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う  
 ▶ 送迎・訪問先での濡れた場所での転倒防止の注意喚起

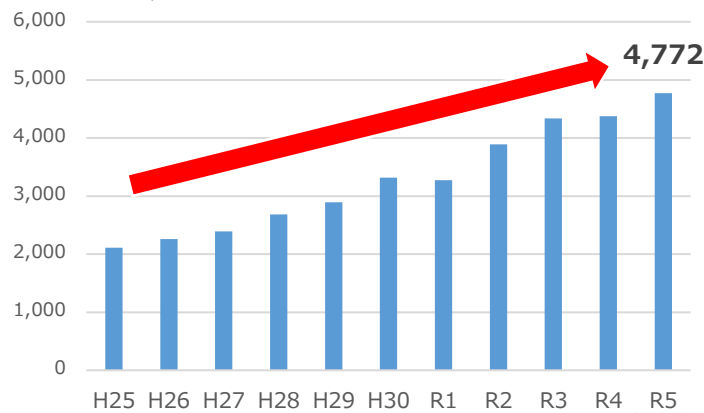


（★）については、高齢労働者の転倒災害防止のため、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」を利用できます  
中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます

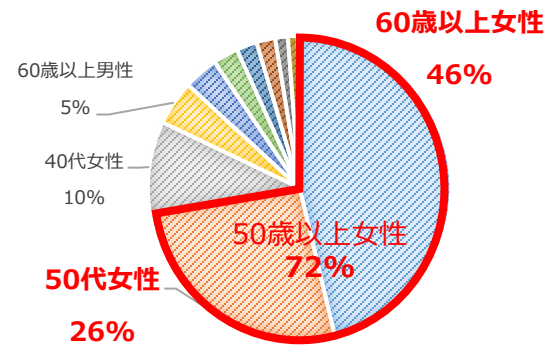


## 職場で転倒して骨折（転倒災害）

### 社会福祉施設での転倒災害は増加の一途



### 性別・年齢別内訳（令和5年）



### 社会福祉施設での転倒災害による平均休業日数（令和5年）

**46.1日**  
※労働者死傷病報告による休業見込日数

よくある転倒の原因と対策

## 転倒リスク・骨折リスク

- ▶ **加齢とともにすべての人が、転びやすくなります**  
 ✓ いますぐ「転びの予防 体力チェック」
- ✓ 「毎日かんたん！ロコモ予防」
- ▶ **特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します**  
 ✓ 対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」を受診させましょう

